

# 2015年3月期 決算説明会

2015年5月8日

**NECネットエスアイ株式会社**  
(銘柄略称: NESIC 銘柄コード: 1973)

**執行役員社長 和田雅夫**

- I. 2015年3月期 決算概要**
- II. 2016年3月期 業績予想**
- III. 中期経営計画の取組み状況**
- IV. 今後の成長に向けた考え方**

**I. 2015年3月期 決算概要**

II. 2016年3月期 業績予想

III. 中期経営計画の取組み状況

IV. 今後の成長に向けた考え方

# (振り返り)2015年3月期 事業遂行方針

## トップラインの拡大

### ● 企業ネットワーク

- ・ 地域展開を含めたEO事業の成長加速
- ・ SCM基盤やコンタクトセンター基盤などの共通事業基盤を活用した事業拡大

### ● キャリアネットワーク

- ・ テクニカルアウトソーシング事業を軸としたキャリアマーケット深耕
- ・ NECマグナスとのシナジーによる事業拡大・効率化推進

### ● 社会インフラ

- ・ 公共事業投資の積極的な取込み(消防・防災、国土強靱化、環境等)

## 収益性の強化

### ● 原価改革の取組み加速

### ● SGAの効率化

## コンプライアンス最優先の事業遂行

## 売上高、営業利益、営業利益率で中期経営目標を1年前倒しで達成し、過去最高を更新

- 当期純利益は、税制改正に伴う繰延税金資産の取崩しおよび子会社再編に伴う事務所統合費用等の特別損失により前年比減少

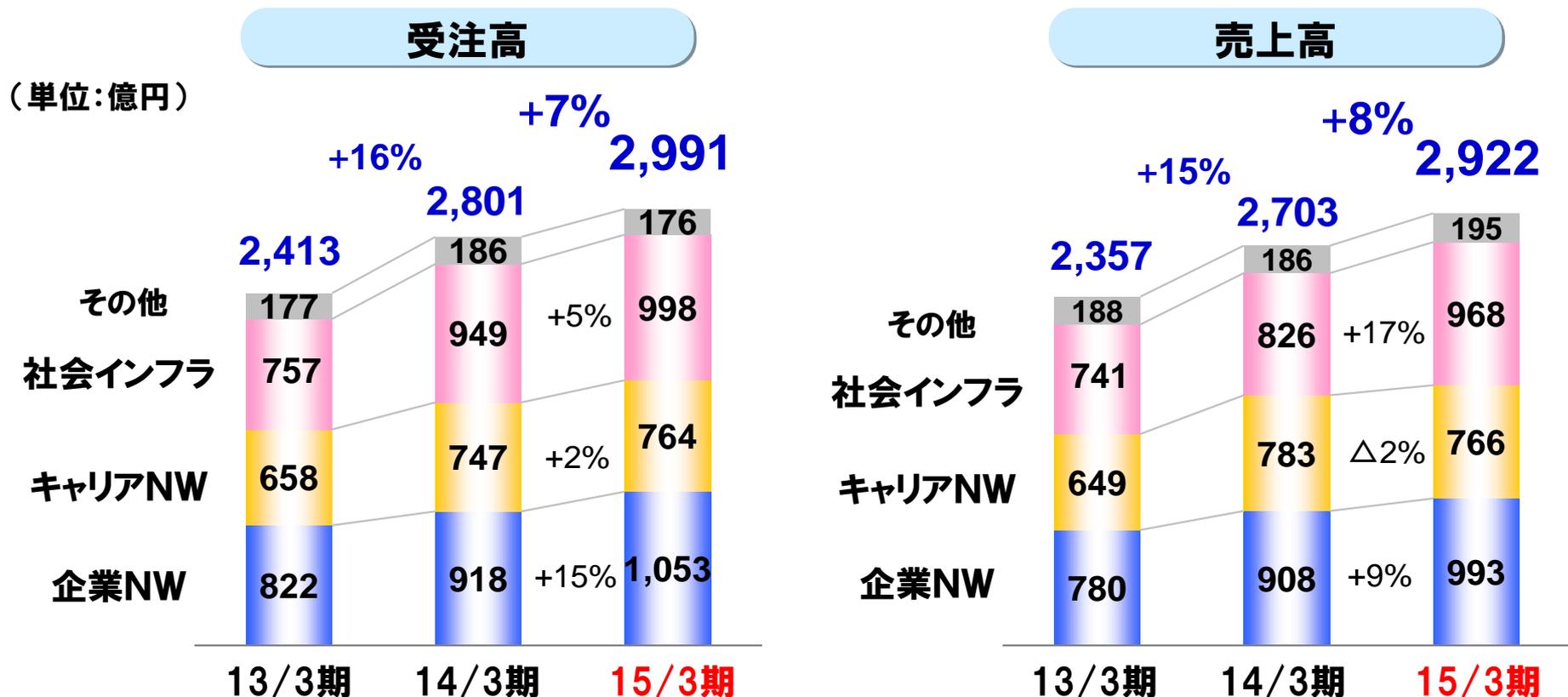
(単位:億円)

	14年3月期	15年3月期	前年差/比	前回予想値 (10月30日)
受注高	2,801	2,991	+7%	2,950
売上高	2,703	2,922	+8%	2,850
営業利益 (営業利益率)	144 (5.3%)	162 (5.5%)	+17 +0.2pt	150 (5.3%)
当期純利益 (当期純利益率)	83 (3.1%)	78 (2.7%)	△5 △0.4pt	90 (3.2%)
R O E	9.6%	8.7%	△0.9pt	
フリー・キャッシュ・フロー	178	△15	△193	

# 2015年3月期 セグメント別受注高／売上高

## 企業NW、社会インフラが好調に推移し、 受注高・売上高拡大

- 企業のICT投資回復、消防・防災システム事業拡大、前期M&Aの効果
- キャリアNWは通信事業者投資抑制の影響で減収



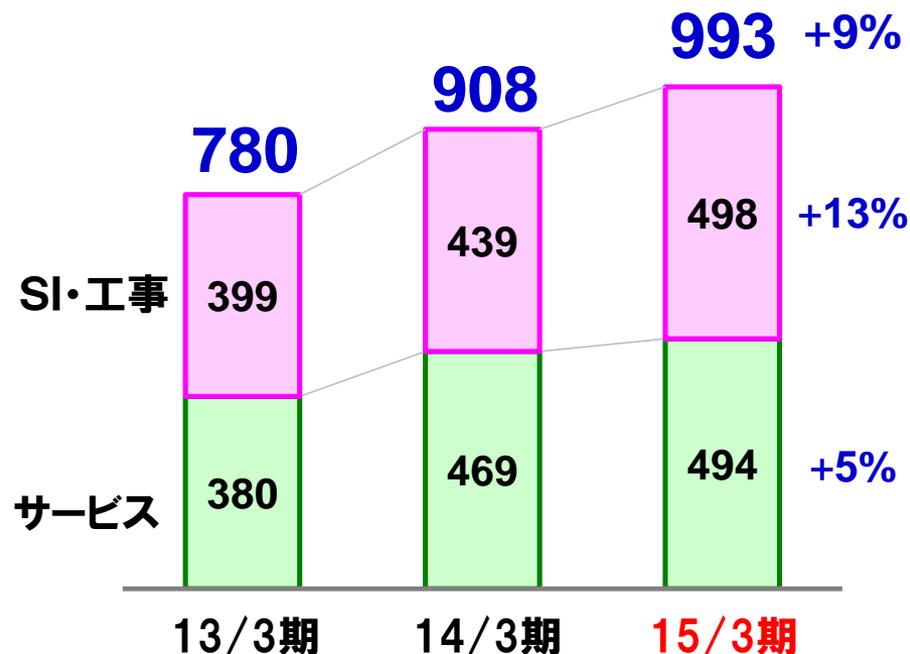
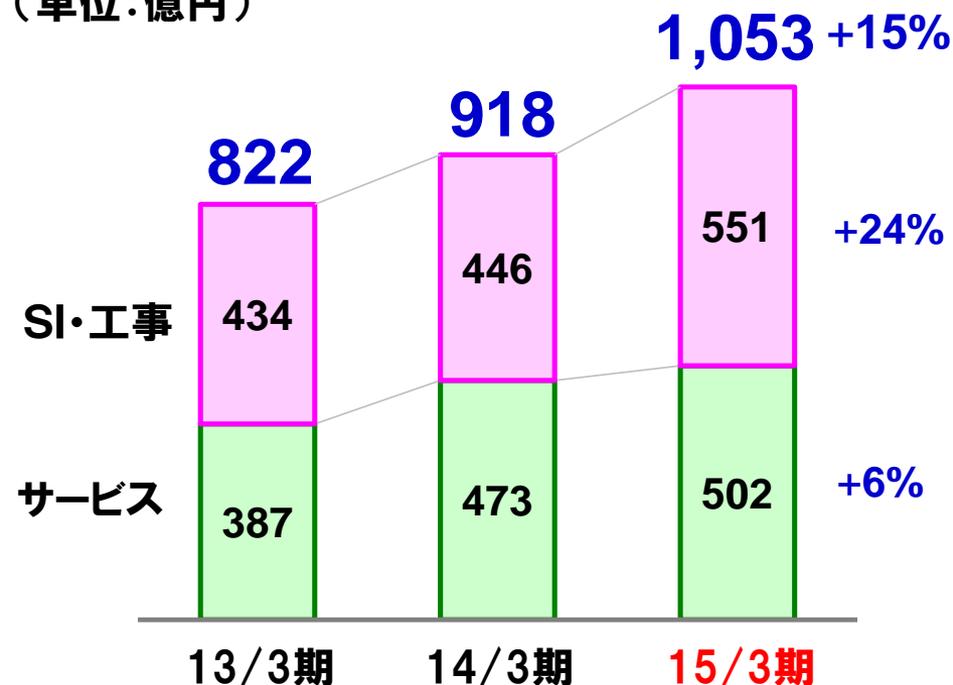
## 企業のICT投資回復を取込み、受注高、売上高ともに前年比大幅増加

- EmpoweredOffice事業が好調継続(売上高: +90億円) ※QAC含む
- ほぼ全ての業種にわたり受注高・売上高が拡大

受注高

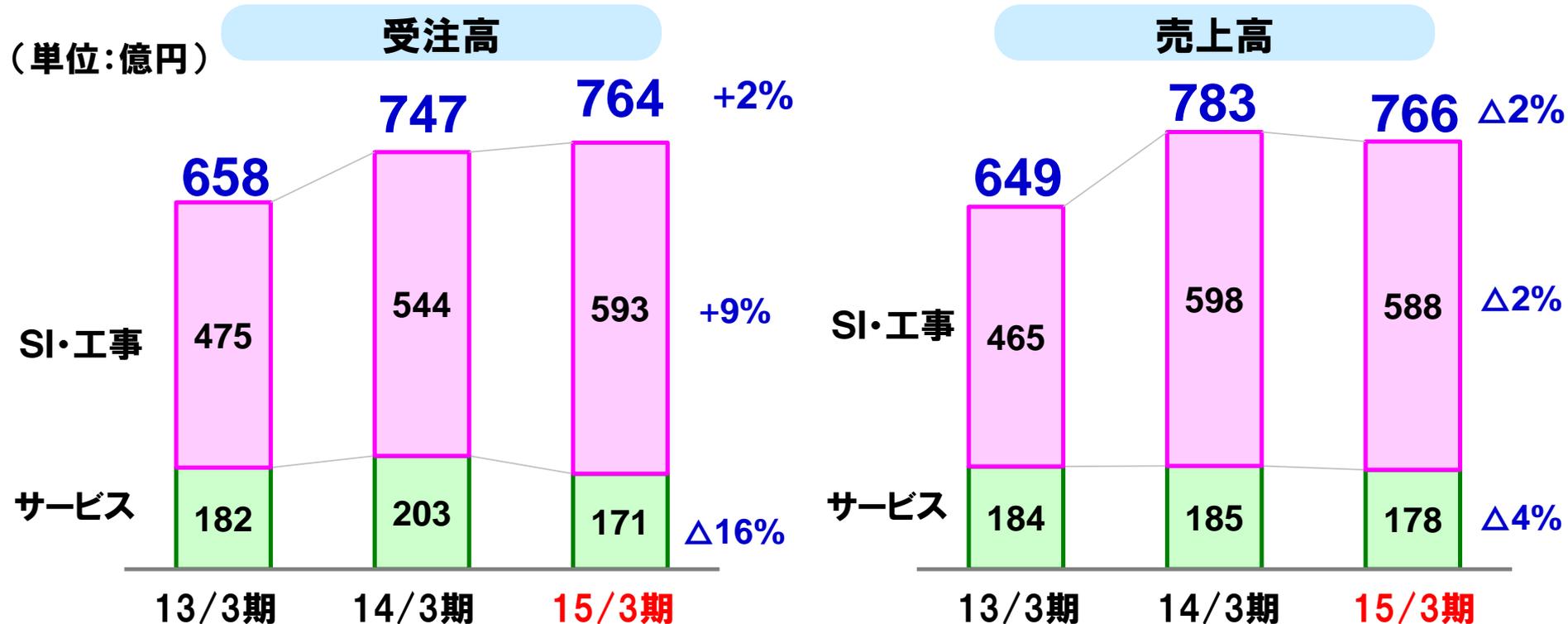
売上高

(単位:億円)



## 通信事業者の設備投資減少の影響を受け、前年比で売上高減少

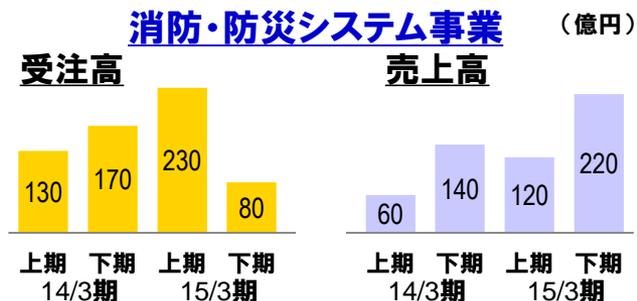
- NECマグナスコミュニケーションズ社の連結効果(受注高・売上高: +約100億円)
- 移動体基地局事業は前年プラチナバンドの影響で減少 (売上高: △約20%)
- サービス事業の受注減は、長期保守案件の前年度一括計上の影響



# 2015年3月期 社会インフラ事業

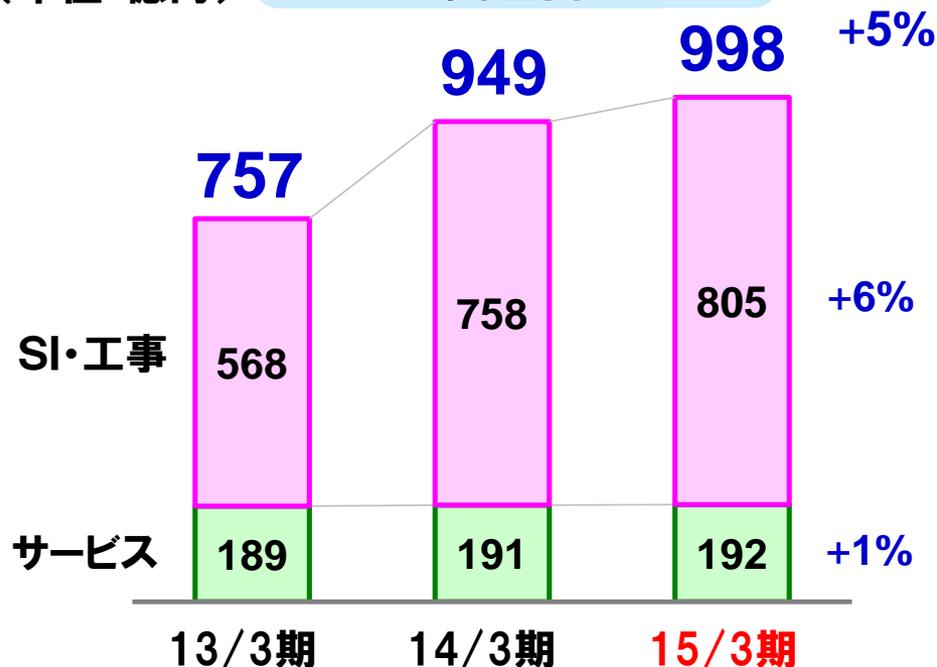
## 公共投資の増加を背景に受注高・売上高が前年比増

- 消防無線デジタル化プロジェクトが活況
  - ・受注は、下期に入りピークアウト
  - ・消防指令システムプロジェクトは今後も継続
- 海外インフラ工事の受注が伸長(+40億円)

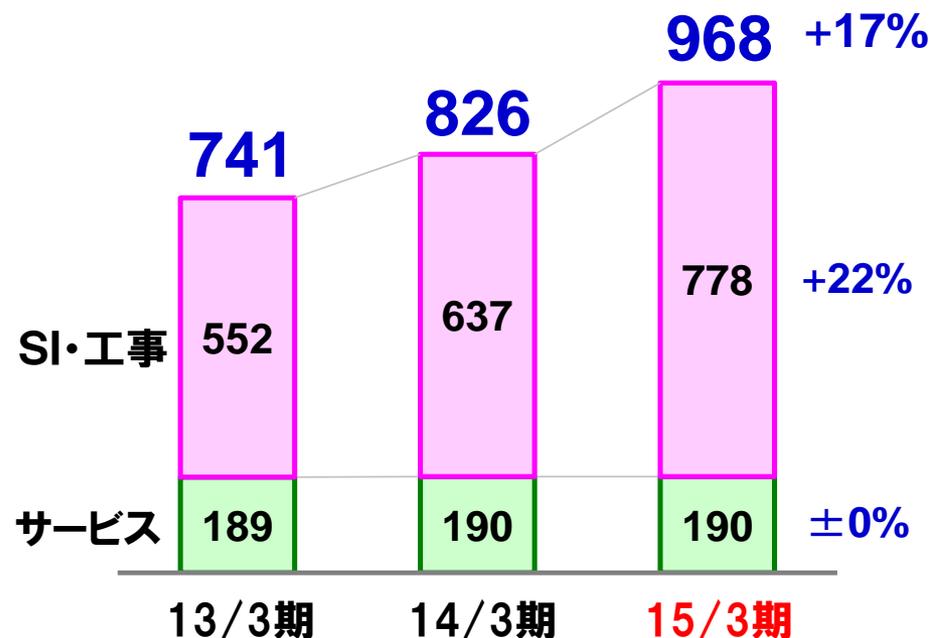


(単位:億円)

### 受注高

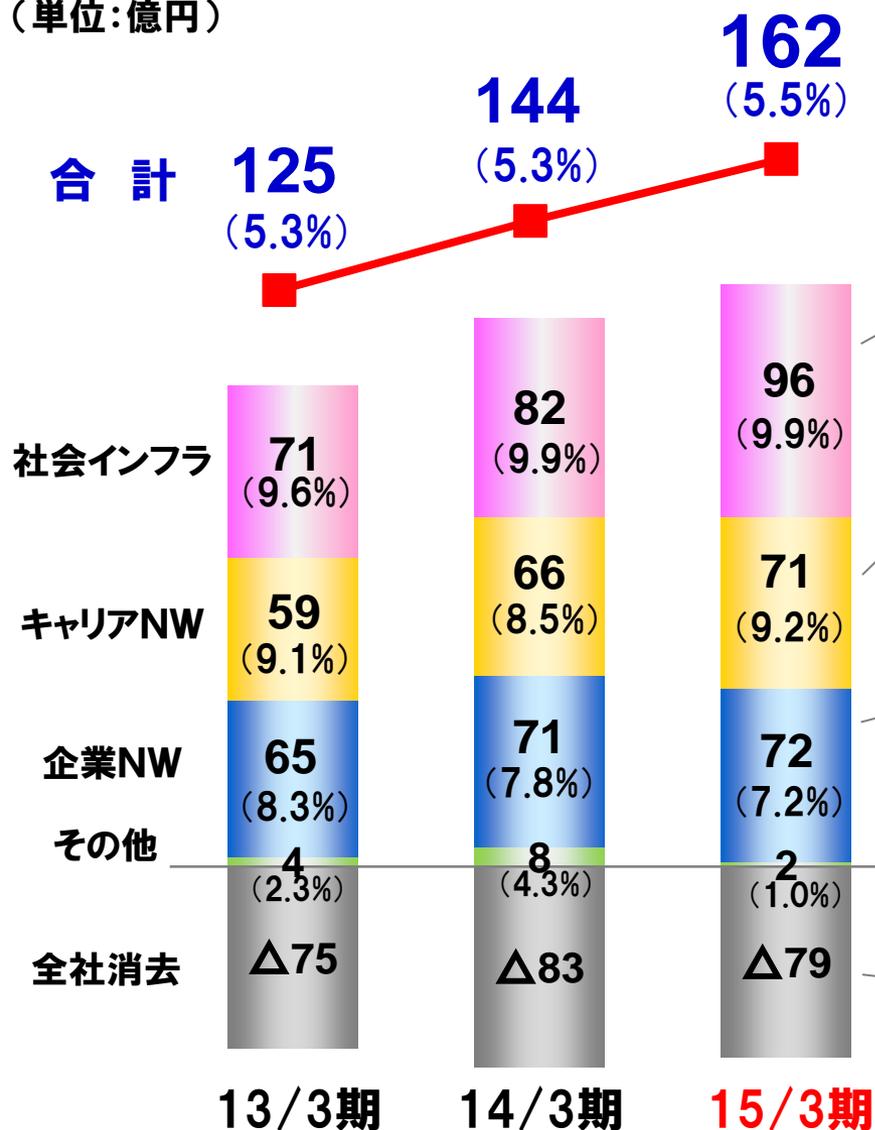


### 売上高



# 2015年3月期 セグメント別営業利益

(単位:億円)



## 主要3セグメントで増益

- **社会インフラ**  
・売上増により増益
- **キャリアネットワーク**  
・売上減も、原価率の改善で増益  
・M&Aした子会社も収益貢献
- **企業ネットワーク**  
・売上ミックス変化による原価率悪化を売上増で吸収し増益
- **サービス基盤整備費用が増加も  
全社スタッフ費用効率化で改善**

13/3期

14/3期

15/3期

( )は営業利益率

# 2015年3月期(15年3月末) バランスシート

大型プロジェクトの増加に伴う期末の売掛金、たな卸資産の増加で、総資産が膨らみ、自己資本比率が0.5%低下

(単位:億円)

		14年3月末	15年3月末	増減
	現金及び現金同等物、有価証券	444	390	△55
	受取手形及び売掛金	960	1,139	179
	たな卸資産	82	101	20
	その他流動資産	88	81	△7
<b>流動資産合計</b>		<b>1,574</b>	<b>1,711</b>	<b>137</b>
<b>固定資産合計</b>		<b>317</b>	<b>309</b>	<b>△8</b>
<b>資産合計</b>		<b>1,891</b>	<b>2,020</b>	<b>129</b>

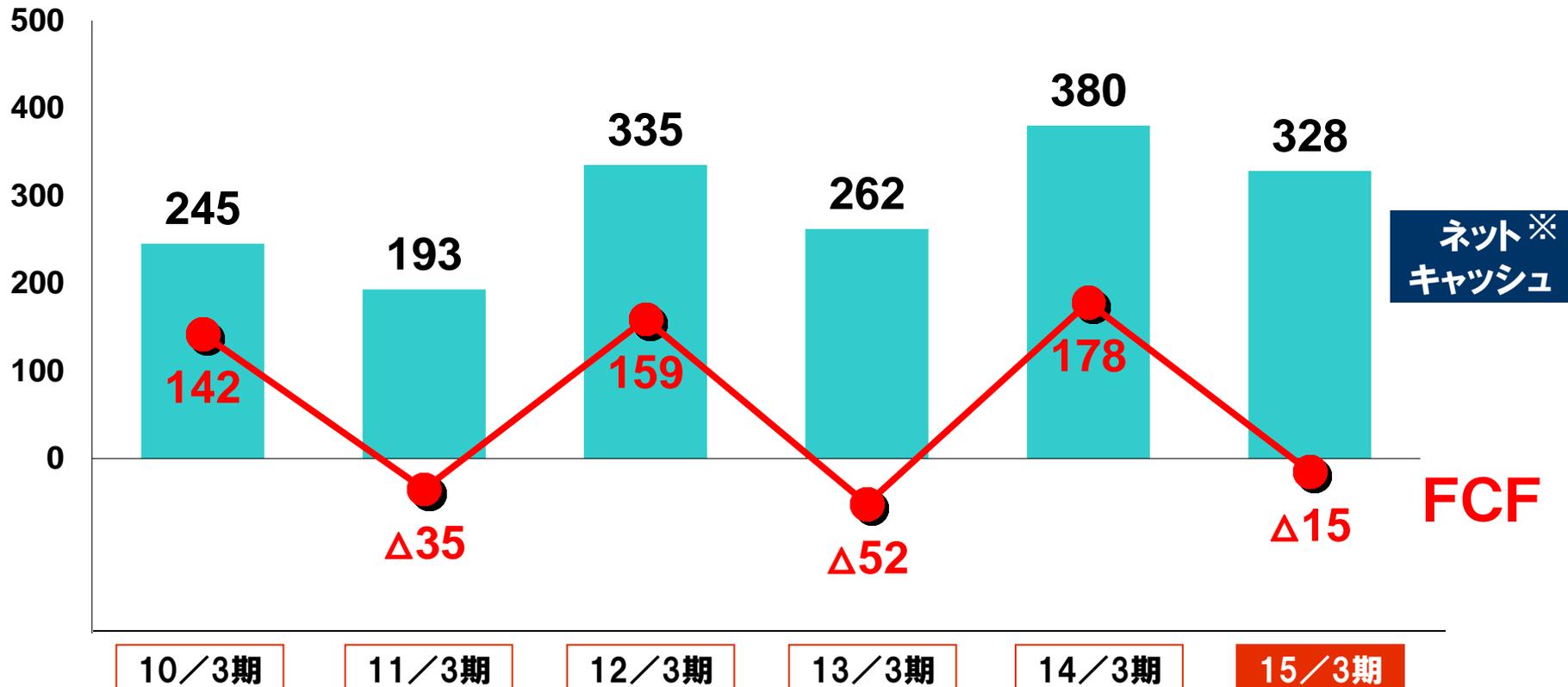
	買入債務	432	487	55
	借入金	64	62	△3
	その他負債	503	530	27
<b>負債合計</b>		<b>999</b>	<b>1,078</b>	<b>79</b>
	株主資本合計	912	944	33
	その他の包括利益累計額	△37	△19	18
	少数株主持分	17	16	△0
<b>純資産合計</b>		<b>892</b>	<b>942</b>	<b>50</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>1,891</b>	<b>2,020</b>	<b>129</b>

<b>自己資本比率</b>		<b>46.3%</b>	<b>45.8%</b>	<b>△0.5pt</b>
---------------	--	--------------	--------------	---------------

# 2015年3月期 キャッシュフロー

FCFは、入金タイミングの影響、社会インフラ案件(長工期)の増加により前年同期比減少も、成長に向けた資金は確保

(単位:億円)



※ネットキャッシュ=現金および現金同等物-借入金

# コンプライアンス強化策の遂行状況

## 子会社元従業員不正事件を受け、策定したグループ全体のコンプライアンス強化策を計画通りに遂行

施策	実行結果
● 経理・財務プロセスの見直し	・子会社財務機能を親会社へ集約 ・財務プロセスを標準化
● グループとしての人事ローテーション	・グループ全体のスタッフ要員を対象に人事ローテーションを実施
● コンプライアンス教育強化	・子会社取締役、監査役に対する定期研修実施 ・各階層別にコンプライアンス教育を定期実施
● 内部監査および監査法人による監査の強化	・内部監査部門と監査項目の強化 ・監査法人による重要子会社に対するフルスペック監査
● グループ経営の強化	・国内子会社の再編を実施(15年2月、4月) ・グループ会社統制部門の新設(14年4月)

- 
- I. 2015年3月期 決算概要
  - II. 2016年3月期 業績予想**
  - III. 中期経営計画の取組み状況
  - IV. 今後の成長に向けた考え方

**分野ごとに強弱はあるも、消費増税の低迷からの景況感回復などにより、足元の事業環境は堅調**

## ●企業ネットワーク

- ・景況感の回復を受け、国内のICT投資の回復基調が継続

## ●キャリアネットワーク

- ・通信事業者の設備投資は、基地局を中心に抑制傾向
- ・MVNOやM2Mなどの新サービス領域は活性化

## ●社会インフラ

- ・国土強靱化など安心・安全をテーマとした公共投資が堅調
- ・オリンピックに向けたインフラ整備投資の活性化に期待

## 中期経営目標を上回り、過去最高の業績を目指す

(単位:億円)

	15年3月期 実績	16年3月期 予想値	前年差/比	中期経営 目標
受注高	2,991	3,000	+0%	-
売上高	2,922	2,950	+1%	2,900
営業利益 (営業利益率)	162 (5.5%)	165 (5.6%)	+3 +0.1pt	160 (5.5%)
当期純利益 (当期純利益率)	78 (2.7%)	95 (3.2%)	+17 +0.5pt	- -

(予想値は、2015年4月28日現在のものです。)

## コンプライアンス最優先の事業遂行

## 中期経営計画の完遂

### ◆中期経営目標から上積みした新年度予想値の必達

#### ● トップラインの拡大

- ・企業向け事業の拡大、成長投資の成果刈取り

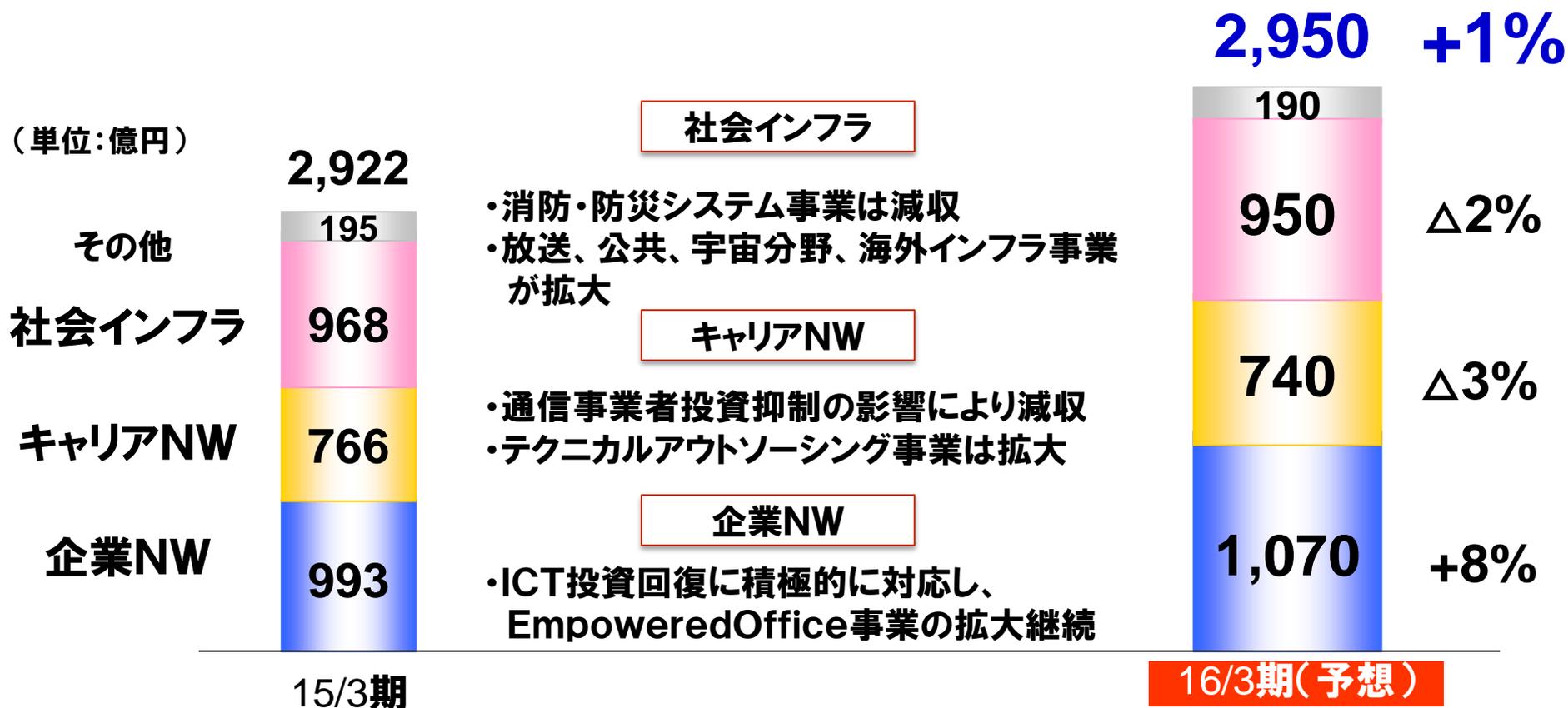
#### ● 収益性の向上

- ・総コスト改革の推進、SCM改革による調達、物流コスト削減 等
- ・SG & Aの効率化

## グループ経営の強化、効率化推進

# 2016年3月期 業績予想(セグメント別売上高)

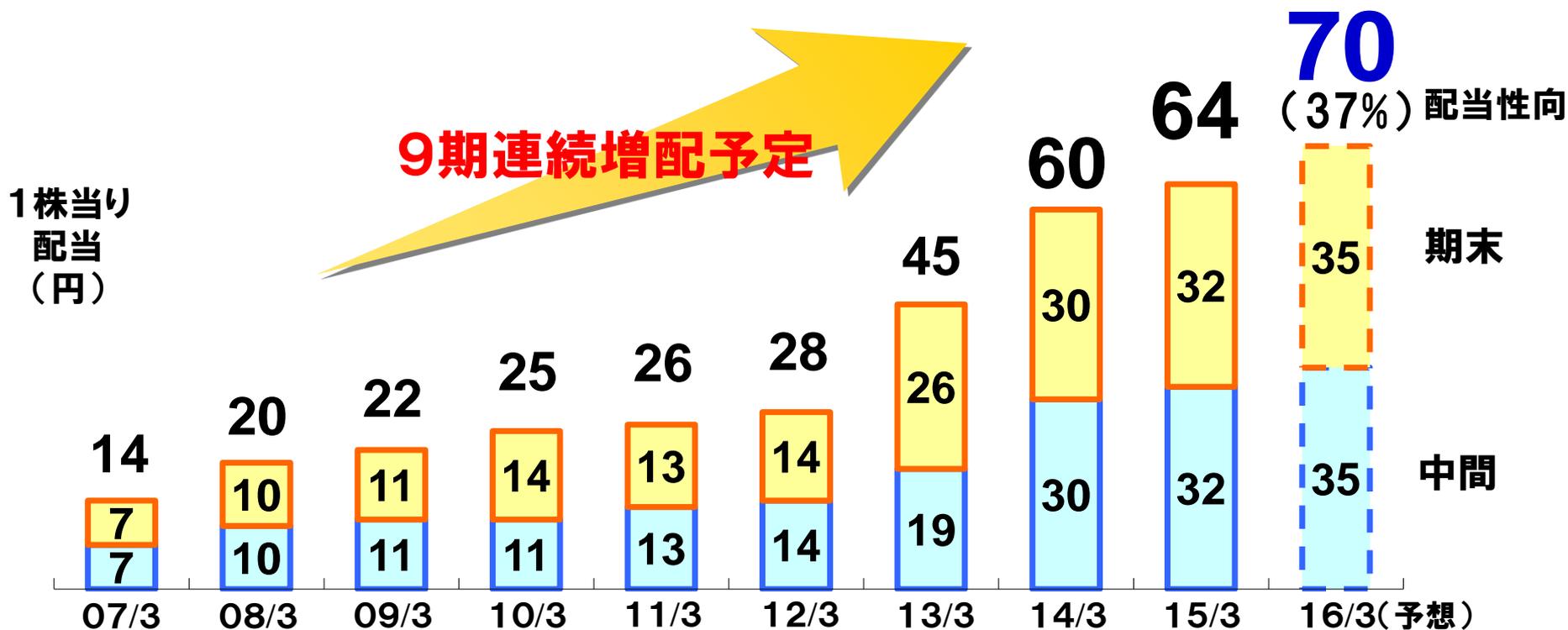
消防無線デジタル化はピークアウト(△90)も、企業ネットワークの成長(+80)、放送・公共・宇宙分野の拡大(+40)、海外インフラ事業の拡大(+20)等により成長継続



(※予想値は、2015年4月28日現在)

## 安定配当をベースに、利益拡大に伴い、株主還元を拡大

- 15年3月期： 計画通り期末配当32円/株(年間64円)
- 16年3月期： 年間70円/株へ増配予定



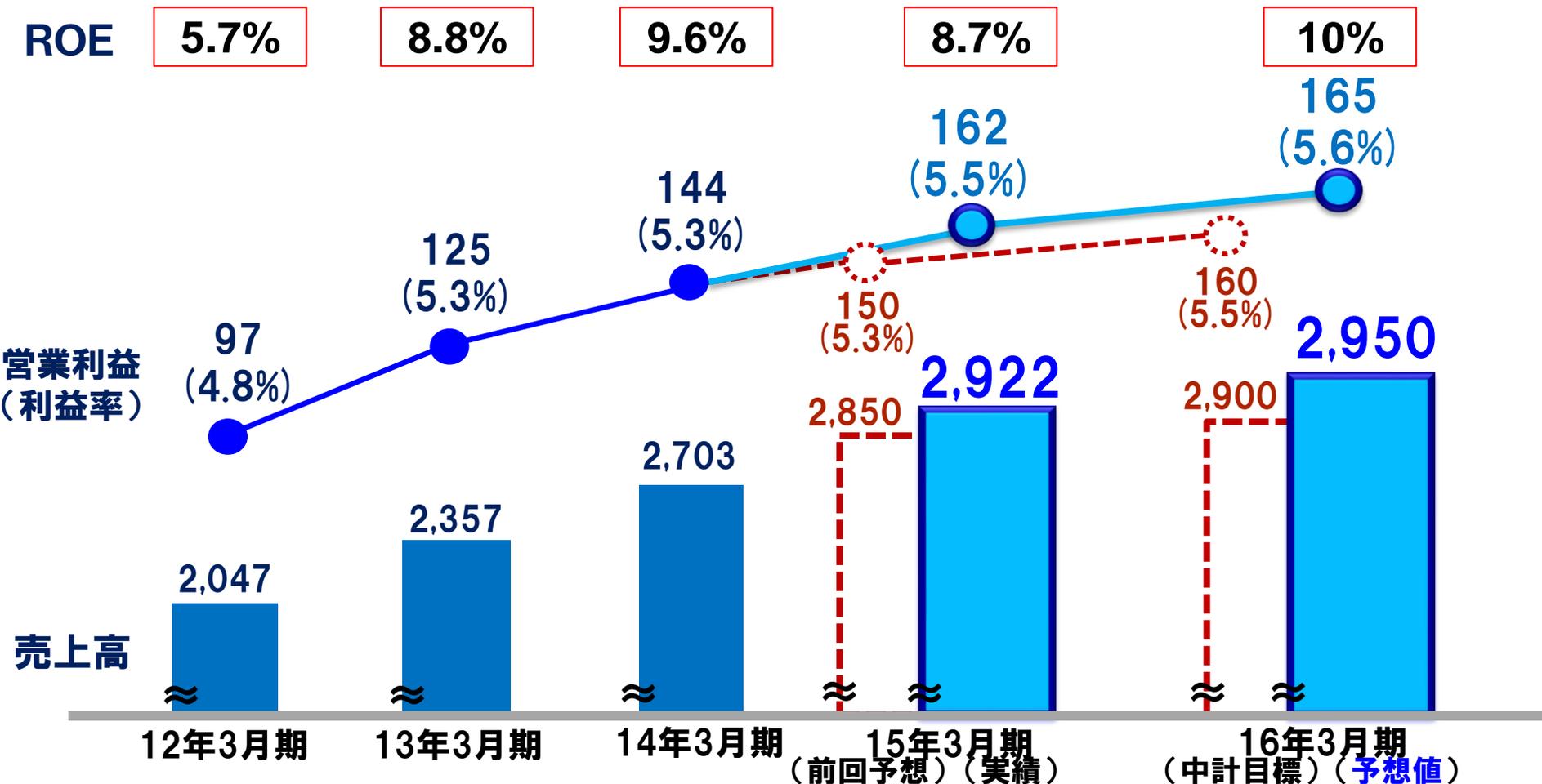
- I. 2015年3月期 決算概要
- II. 2016年3月期 業績予想
- III. 中期経営計画の取組み状況**
- IV. 今後の成長に向けた考え方

# 中期経営計画の進捗状況

## 中期経営目標(売上高・営業利益/率)を前倒して達成

- 16年3月期にROE10%の達成を目指す

(単位:億円)

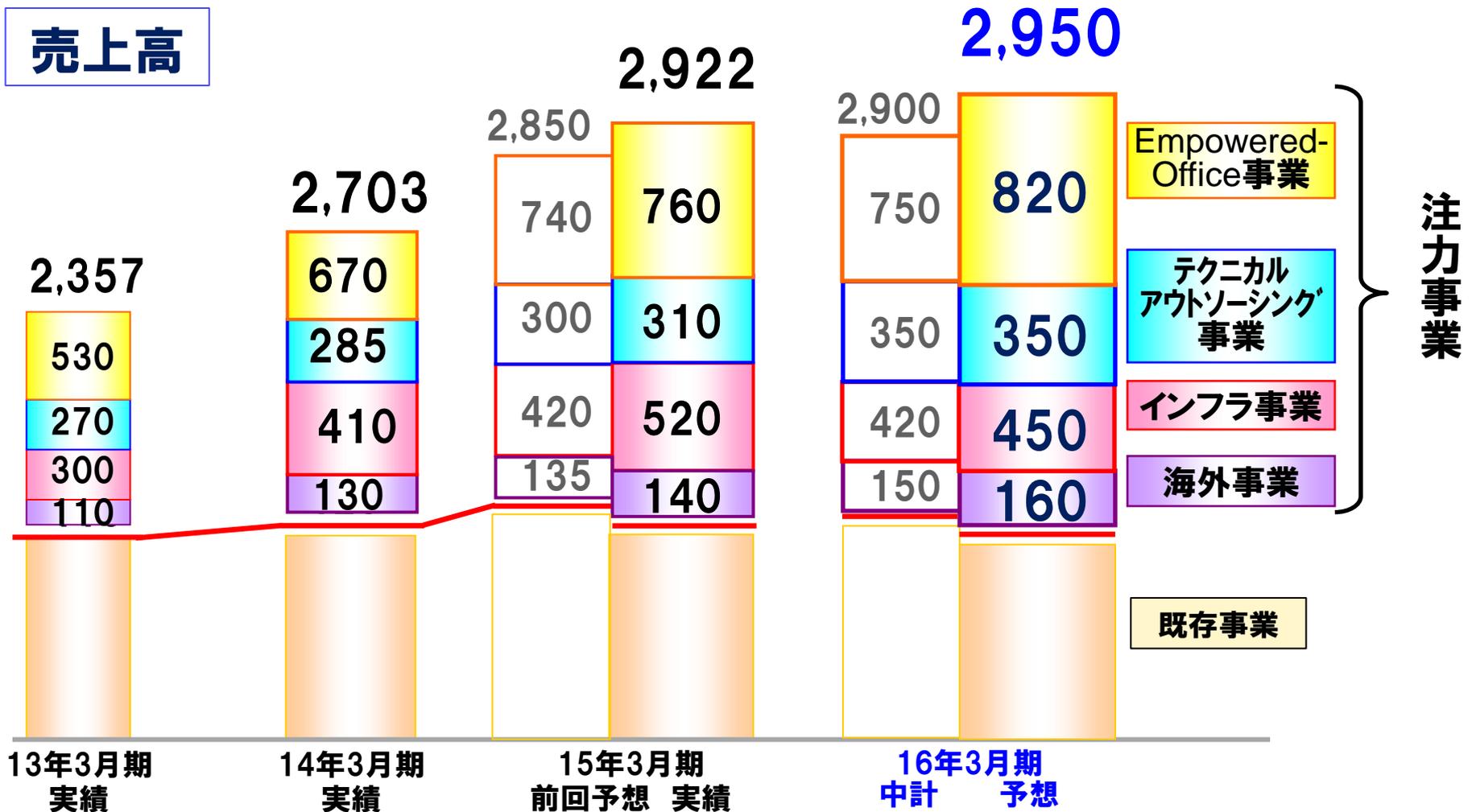


# 中期経営計画の進捗

## 注力事業が順調に成長

(単位:億円)

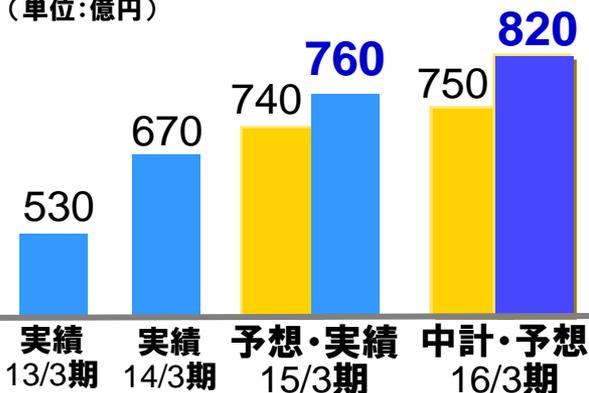
### 売上高



# EmpoweredOffice事業

## 売上計画／実績

(単位:億円)



## 戦略

### ●マーケット拡大

- ・地方・公共へのEO事業展開
- ・オフィス市場深耕

### ●サービス事業の拡大

- ・共通基盤連携強化
- ・DC、クラウド事業の  
取組み強化

## 中期経営計画達成に向けた進捗

### ●新ソリューションの開発、投入



### SmoothSpace

プロジェクションマッピング技術を活用し、  
遠隔オフィスとのリアルなコミュニケーションを実現

### ●お客様や外部からの評価が拡大

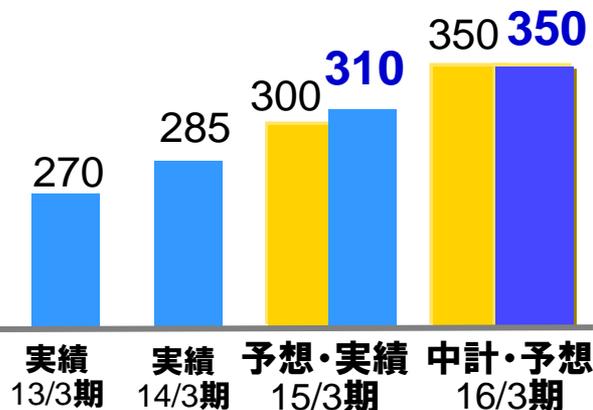
- ・EO化オフィス活用での商談化推進(累計**2万人突破**)



# テクニカルアウトソーシング事業

## 売上計画／実績

(単位:億円)



## 戦略

- 共通事業基盤の活用による事業拡大、効率化
- キャリア向け事業の深耕
- マーケット拡大  
(キャリア⇒企業)

## 中期経営計画達成に向けた進捗

### ● sDOC※を活用した テクニカルBPOサービスが堅調

※Service Delivery Operation Center

約50億円  
※15年3月期

- 立上げ初年度から、大手SI販社、リース会社のほか、国内外メーカーからテクニカルBPO案件獲得



### ● 多言語サービス事業体制の強化

- 7か国語※1対応の多言語コンタクトセンターを有する新会社を設立※2

LanguageOne

- ➡ 消防マーケットに加え、日系グローバル企業、官庁自治体、ホテル、医療向けを強化

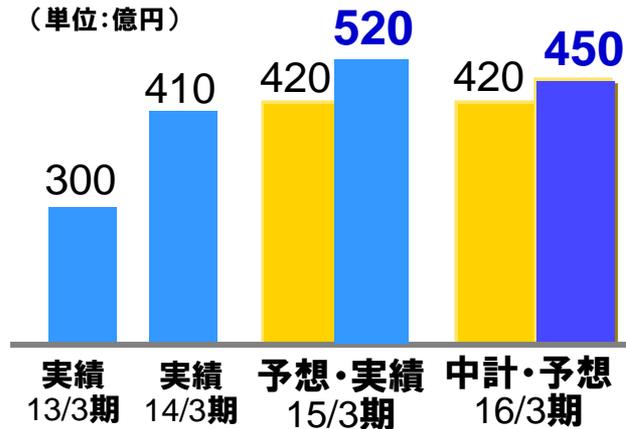
※1. 英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、ロシア語

※2. キューアンドエー社、(株)翻訳センターの合併会社

# インフラ事業

## 売上計画／実績

(単位:億円)



## 戦略

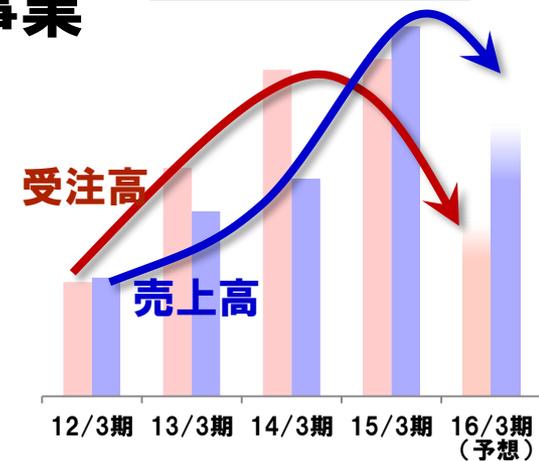
- 移動体基地局関連事業
    - ・対応エリアの拡大及び既存エリア内のシェアアップ
  - 消防・防災事業
    - ・消防・防災事業の既存事業領域におけるシェア拡大
- ➡ 消防指令システム、防災、環境エネルギー分野拡大に注力

## 中期経営計画達成に向けた進捗

### ● 消防・防災システム事業

- ・受注ピークアウトも、受注残を背景に売上高は高水準

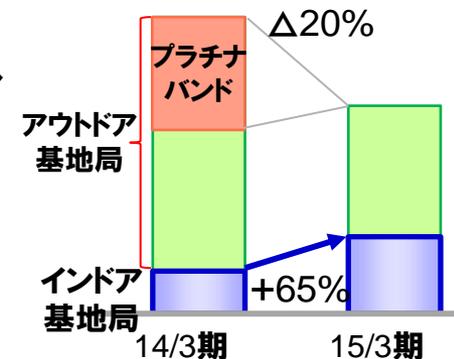
消防・防災システム事業



### ● 移動体基地局関連事業

- ・通信事業者の投資戦略によりアウトドア基地局減少

➡ インドア基地局へリソースシフト実施し、成果



## 売上計画／実績

(単位:億円)



## 戦略

### ●アジア圏を中心とした通信インフラ事業の拡大

(重点領域)

タイ ⇒ キャリア向け3G対応  
フィリピン、シンガポール、インドネシア  
⇒防災、鉄道

### ●アジアを軸にしたJOCへの対応を強化

## 中期経営計画達成に向けた進捗

### ●新規成長市場への進出(ミャンマー進出)

- ・インフラ投資の急拡大が見込まれるミャンマーへ進出  
⇒タイ法人のヤンゴン支店を開設(4月)

### ターゲット市場

インフラ構築PJ  
で既に受注実績

- ・モバイルを中心とした通信インフラ整備
- ・鉄道、道路、空港、電力等の各種公共インフラ整備 等

### ●既存顧客深耕による通信インフラ事業の拡大

- ・サウジアラビア:  
西エリアのPJに加え、東エリアでも大型PJを受注  
【プロジェクト概要】  
ガスプラントの計測・制御システムの設備更新

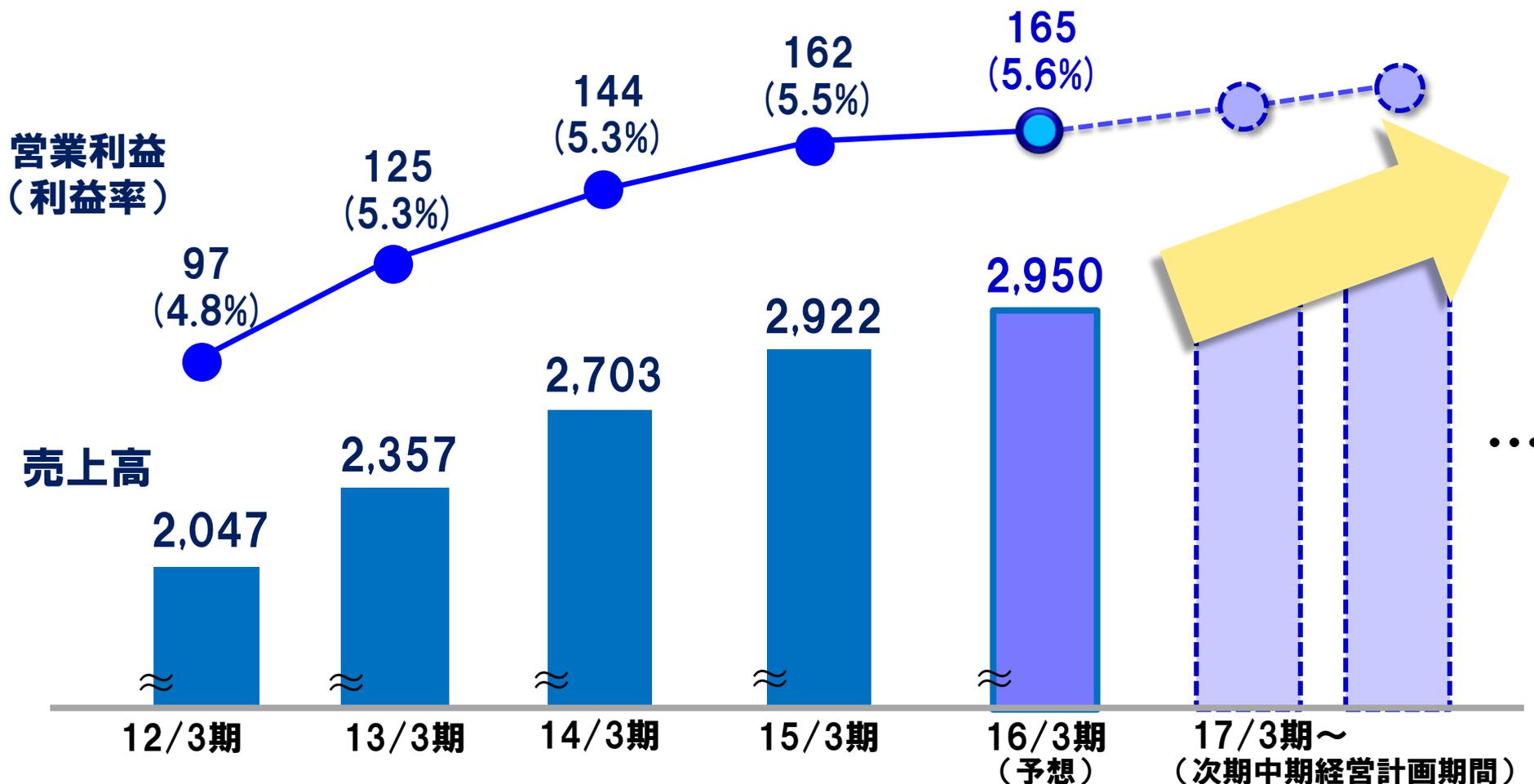
- ・タイ:  
AIS社3G通信網構築PJを遂行中(100億円規模/2年累計)

- 
- I. 2015年3月期 決算概要
  - II. 2016年3月期 業績予想
  - III. 中期経営計画の取組み状況
  - IV. 今後の成長に向けた考え方**

# 今後の成長に向けた考え方

## 成長分野にフォーカスし、成長の継続を基本方針とする

(単位:億円)



## サービス事業の強化とインフラ事業の拡大

～コンサルティングから施工・サービスまでのトータルSierへ～

- **戦略的投資**

（成長分野への重点投資とアライアンス推進）

- **共通基盤強化**

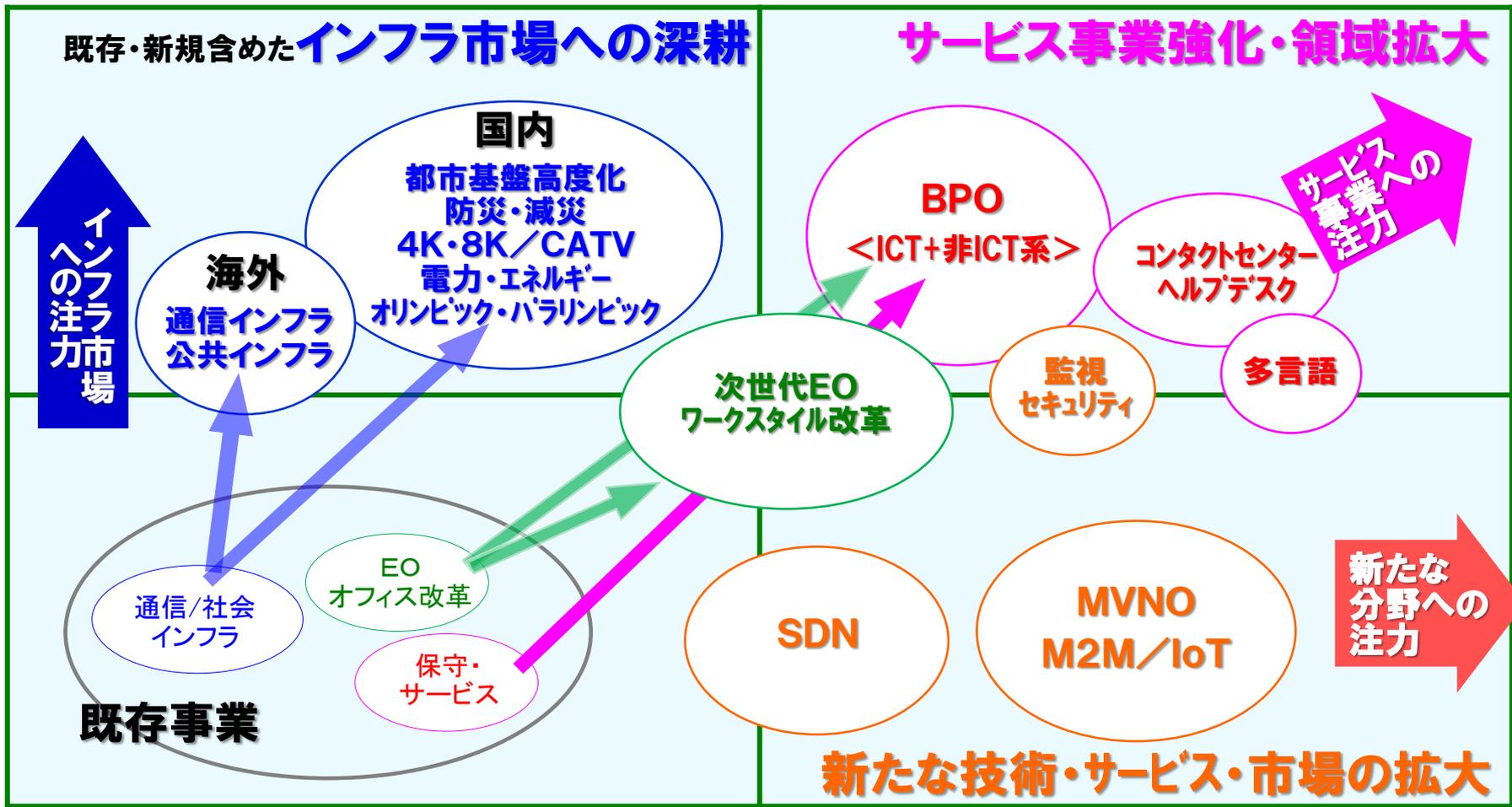
（施工事業基盤、保守・サービス事業基盤の強化）

# 事業戦略・注力マップ

- MVNOやSDN等の成長が期待される新たな技術・サービス分野に注力
- インフラ分野は、市場が活性化する国内およびアジアを中心とした海外事業を強化

新規・注力分野

↑



→ 新技術・サービス分野

# 中期経営計画の完遂

中期経営目標から上積みした新年度予想値の必達

事業の成長

組織の成長

人の成長

コンプライアンス最優先の事業遂行

株主価値向上

# 明日のコミュニケーションをデザインする

nesic

検索



# 本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

当社グループでは、マーケット別の事業体制の強化を進めており、一部事業体制の見直しを行ってまいりました。これを受け、当連結会計年度より、従来「社会インフラ」セグメントに含まれていた移動体基地局等の通信事業者向け工事業を「キャリアネットワーク」セグメントに含める等の報告セグメントの内容変更を行いました。

また13/3期、14/3期も、これに合わせた組替え値で表示しております。

# NEC

NEC ネットワークエスアイ株式会社  
NEC Networks & System Integration Corporation

[www.nesic.co.jp](http://www.nesic.co.jp)